

第2回 名寄市まち・ひと・しごと創生総合戦略推進委員会

日時：平成27年8月11日（火）
18時30分～20時00分
場所：名寄庁舎4階 大会議室

出席者：扇谷委員長、東野副委員長、今井副委員長、尾矢委員、田中委員、
安藤委員、東委員、中村委員、野間井委員、田中委員、森川委員

オブザーバー：北海道上川総合振興局 清水目部長

名寄市：加藤市長、橋本副市長、久保福市長、臼田総務部長、川田経済部長、
松島大学事務局長、岡村病院事務部長、水間営業戦略室長、木村財政課長、
金須企画課長、渡辺企画課主幹、菊池企画課主査

1 開 会

2 市長挨拶

3 協議事項

(1) 基本目標Ⅳ 市立大学の機能強化に関する分野

- ・短期大学部児童学科の4年制化と保健福祉学部の再編強化
- ・大学研究所機能の強化
- ・名寄市立大学卒業生の地元定着化の促進

●質疑

(委員) 大学の役割、期待感大きい。施策の中身をもう少し具体的に示すとともに、卒業生の地元定着化に関するKPIについて、H32の目標値をもっと増やすことは検討できないか。

(北海道) 補助施策については、金融機関と一緒に制度設計することも効果的と考えられるので、検討してはどうか。

(事務局) 施策の具体的標記やKPIなどについてご意見をいただいたので、事務局で修正案を作成し、再度協議をお願いしたい。

(2) 基本目標Ⅴ 地域連携の拡大等に関する分野

- ・定住自立圏共生ビジョンの連携事業の推進
- ・交流自治体等との連携事業の推進

● 質疑

(委員) KPIで救急外来受審患者数が増えるとしているが、医師派遣日数がふえることにより患者数は減少するのではないか。

(事務局) 8月1日から地域型救急救命センターを設置した。市立病院の機能向上により受入患者数が増加するものと予測している。

(北海道) 人口減少が進む中、限られた財源でまちづくりを進めていくには、市町村間の連携を進める必要がある。
特に、都市との連携については、名寄市は杉並区との連携を進めていて、北海道では先進自治体である。

4 そ の 他

5 閉 会